

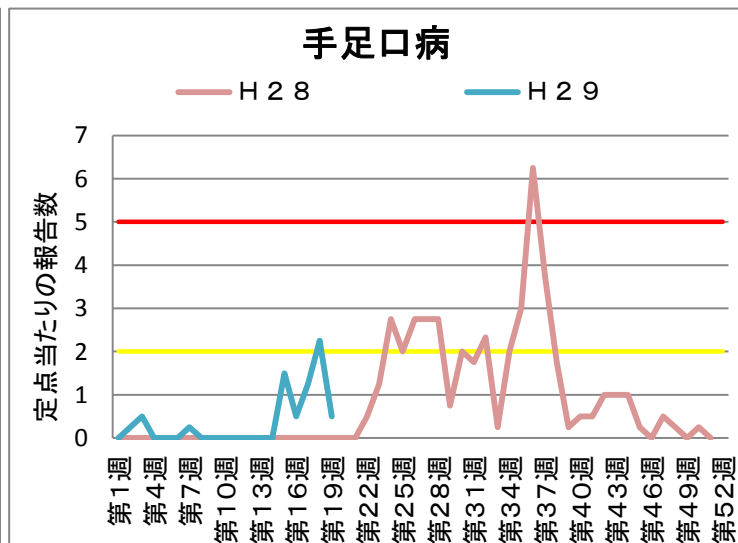
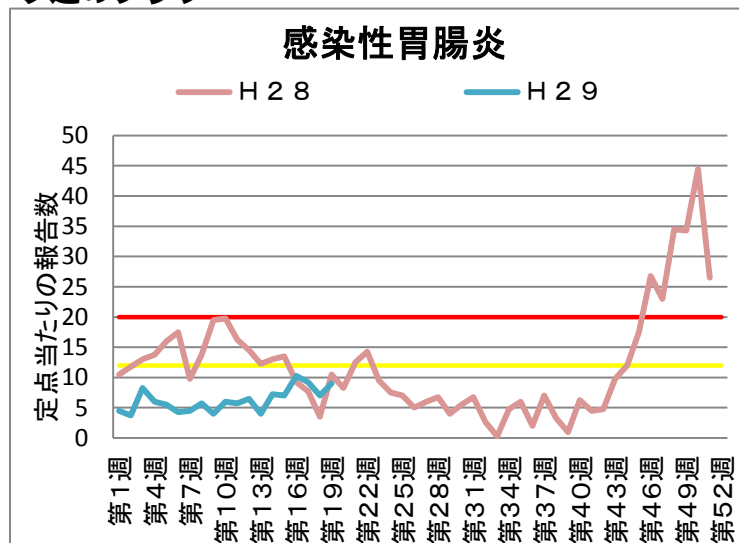
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 19 週 平成29年5月8日 ~ 平成29年5月14日

今週のコメント

○ 感染性胃腸炎の報告が、定点あたり9.0となっています。
○ ロタウイルス感染症の流行のピークは4月後半から5月頃となる場合が多く、乳幼児を中心に急性胃腸炎の原因となり、発熱と嘔吐・下痢などの消化器症状を主症状とします。感染経路は接触感染、糞口感染で、極めて感染力が強く、保育所などでもあつという間に流行します。初感染時が最も重症化しやすいので、注意が必要であり、ワクチンによる予防が重要です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	0.5	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	9	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

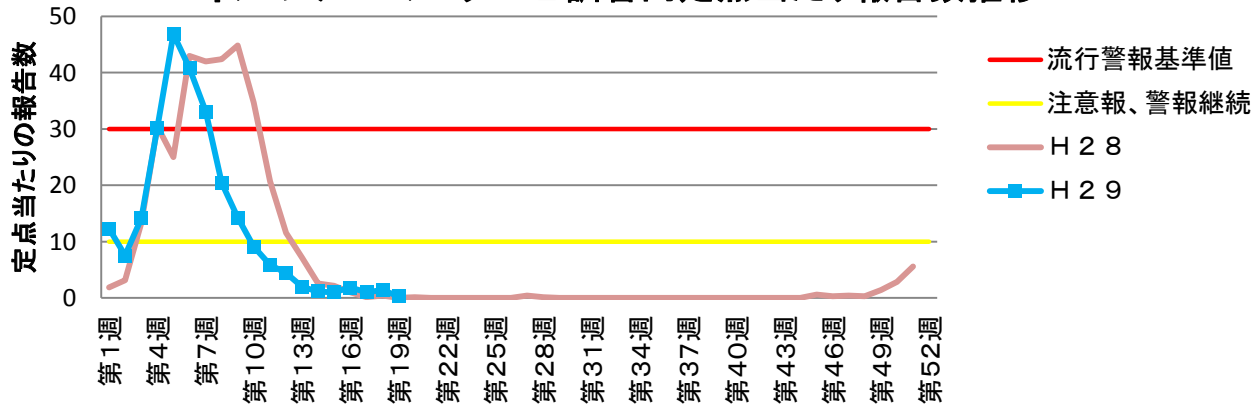
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

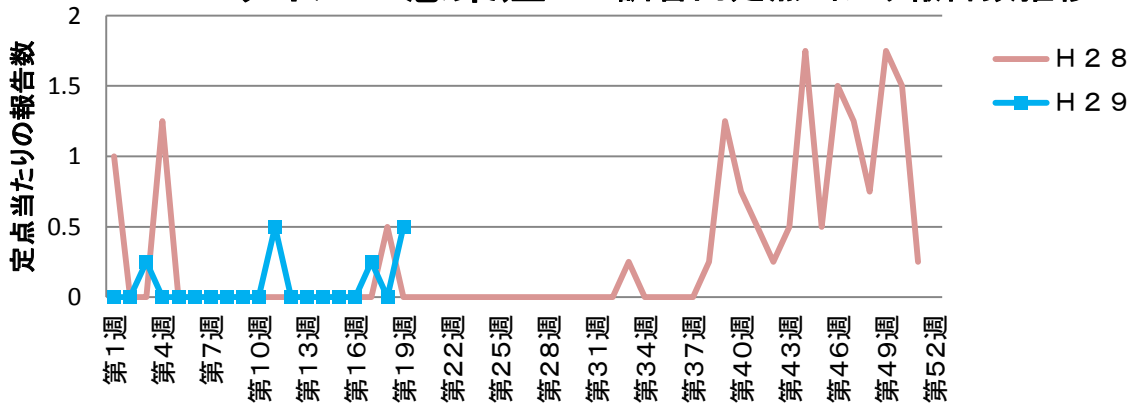
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

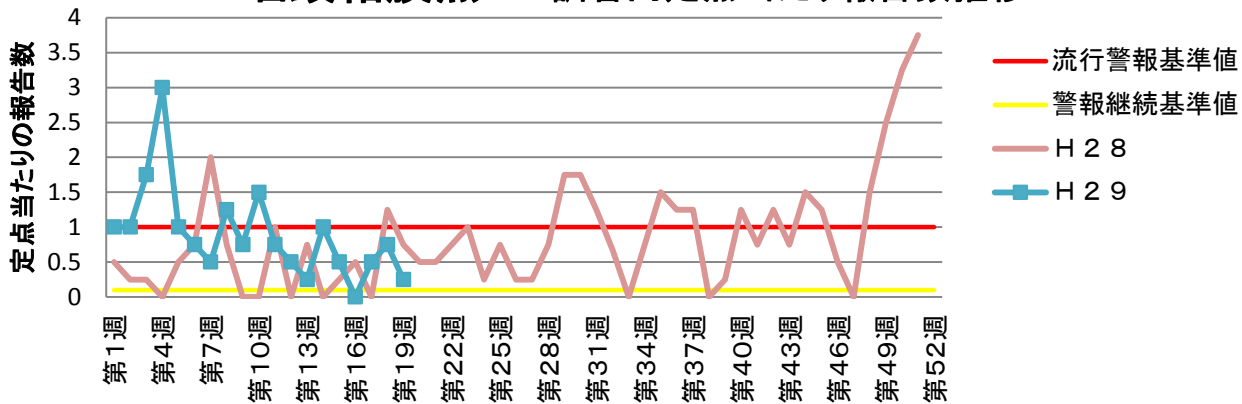
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



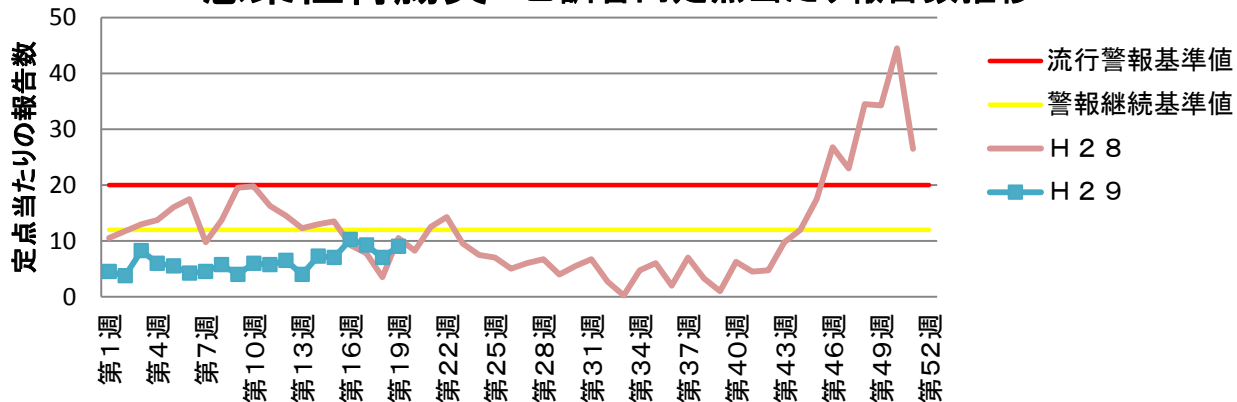
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



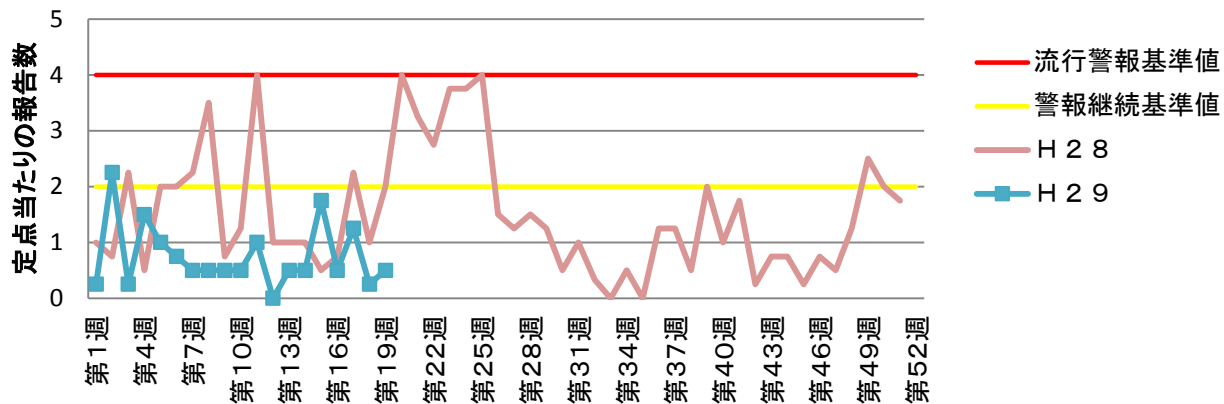
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



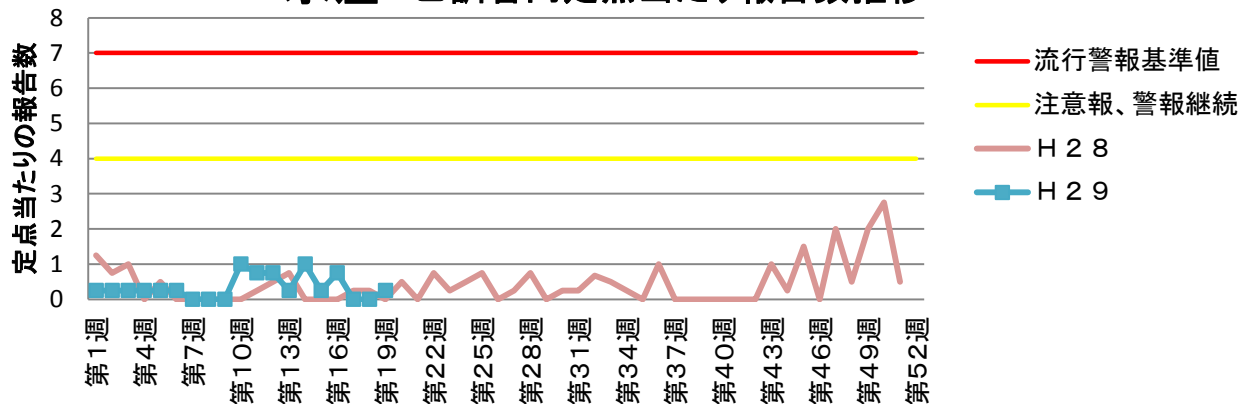
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



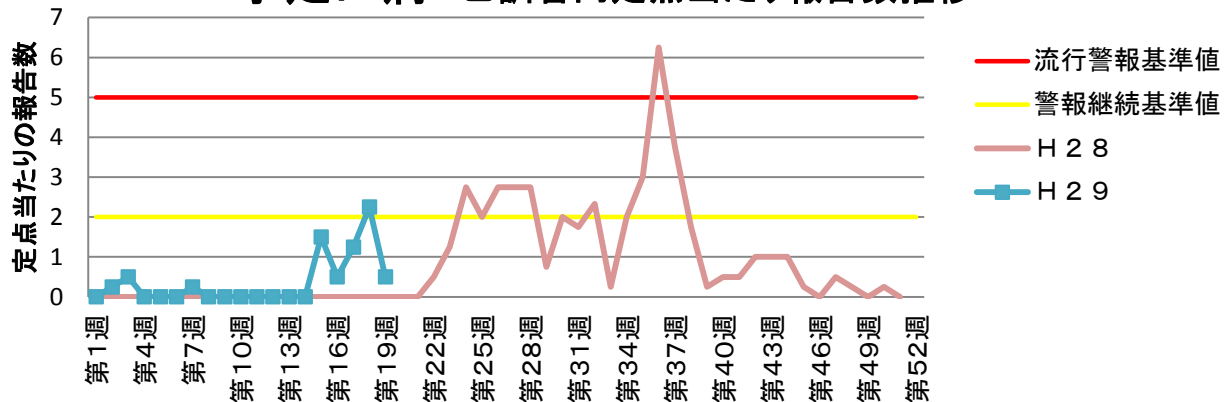
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



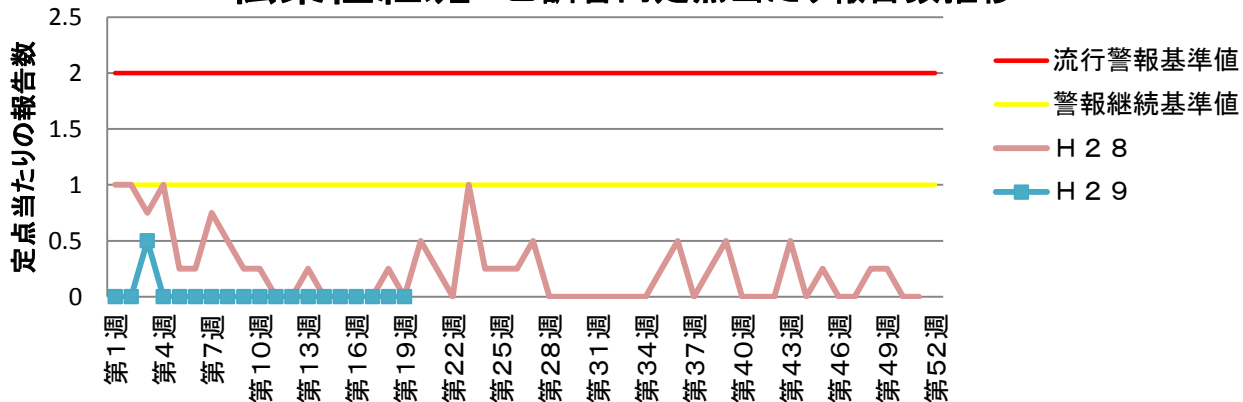
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



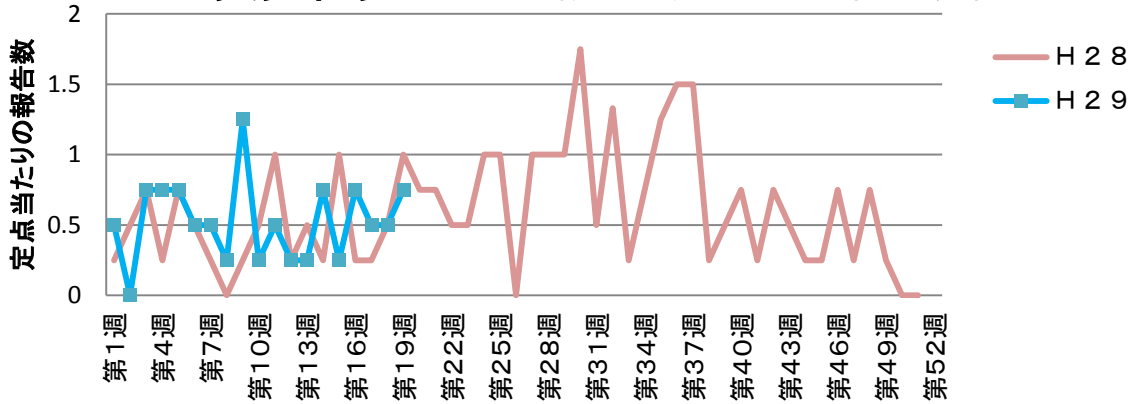
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



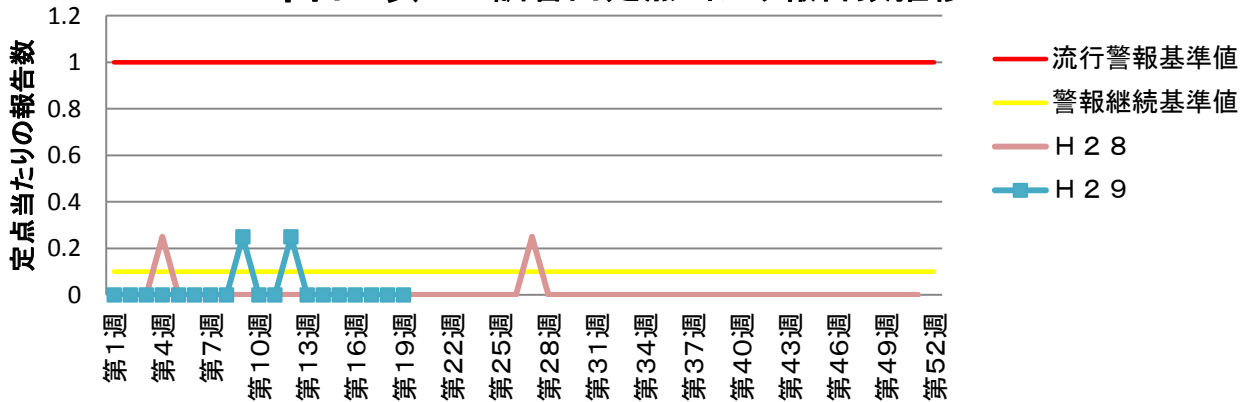
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



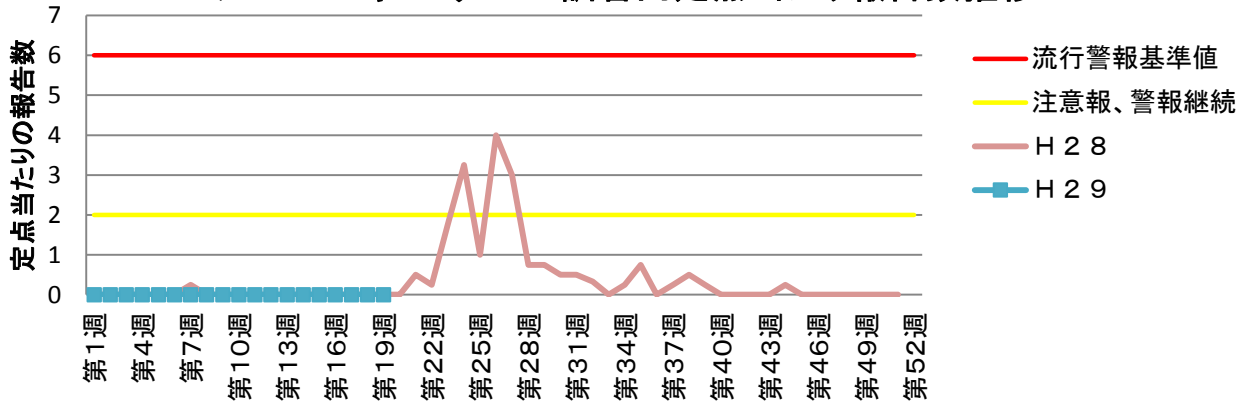
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

